

本委員会に付託された議案はいずれも認定すべきものと決定。審査の過程における発言のうち、主なものについて報告する。

商工観光課関係

観光協会への補助金や職員数が多すぎるとの質問に対して、職員はパートを含めて4名で、周防まるかじり等のイベント事業や観光振興事業等の多種業務を行っており、人員が多いとは考えていない。

また、補助金についても適正に執行されているが、今後とも監督、指導を行うとの答弁。

観光施設の利用者が、前年度より減少している理由と今後の対策はとの質問に対して、前年度のような山口国体の引き受け等がなかったため、今年度は来町者が減少している。

今後の対策として、自然を活かした海岸通りサイクリング等のPR活動、体験型修学

旅行の誘致活動を一層推進し、「お・も・て・な・し・の心」をもった施設づくりをしたいとの答弁。

農林課関係

青年就農給付金の選定基準及び8名の対象者は家族を含めて住民票を本町へ移しているのかとの質問に対して、選定条件は45歳以下で農業に対して十分な熱意があること等で、対象者が作成した経営計画により県が審査し選定している。現在の対象者は、全員が本町へ住民票を移しており、その家族は住民票を移した者と予定している者がいるとの答弁。

各地区の農産物加工所の利用者増加に向けての、PRは考えているのかとの質問に対して、大島地区以外の農

産物加工所は稼働しているが、大島地区の農産物加工所は稼働して間もないので、今後、PR活動をして利用促進を図りたいとの答弁。

水産課関係

農水産物等出荷施設のホイスクレーンを建て替える場合は、漁協以外の利用は寡少であるし、維持管理経費も掛かるので、町が設置を含めて単独で維持するのか。漁協の負担はとの質問に対して、漁協だけでなくライフラインの維持に必要な業者の利用等もあるため、町が設置を含めて維持をするが、今後、施設の更新や利用料の改定を含めて検討するとの答弁。

建設課関係

街路灯をLED化すると、自治会の負担分も安価になるのではとの質問に対して、光熱費だけであれば安価だ

が、LED化に伴う建て替え等の建設工事費も発生するとの答弁。

上下水道課関係

下水道事業特別会計 久賀、大島地区の下水道計画について、将来的に維持管理経費の増加が予想されるが見通しはどうかとの質問に対して、どのような修繕費等が出てくるか不透明な部分もあるが、使用料で将来的に維持管理費は賄えと見込んでいるとの答弁。

生活衛生課関係

町民の方からレジ袋型のごみ袋に変わってごみが2/3くらいしか入らないと苦情があるがとの質問に対して、レジ袋型でも前の形でも、ゴミが入る量はほとんど変わらない。また、前の型に戻すと割高になる場合もあるとの答弁。

長浜にあるリサイクル収集所は、法的に問題はないのかとの質問に対して、先般、県と町合同で立入調査の実施、指導を行った。この収集所は、古物商として取引をしているので、特定廃家電を廃棄物として引き取る場合には、保健所から指導を受けるとの答弁。

